



西藤島小だより

☆学校教育目標 「やってみよう」の西藤島

～主体的に考え、多様性を認め合い、チャレンジを続ける児童の育成～

令和6年12月23日

☆めざす児童像「学ぶ子」「やさしい子」「強い子」

第41号

福井市三郎丸1丁目1410 TEL (0776)22-8820 FAX (0776)22-6809

URL <http://www.fukui-city.ed.jp/ni-fuji-e/> MAIL ni-fu-e@fukui-city.ed.jp

明日から冬休みです。（児童朝礼での校長の話を含む）

12月23日、本日をもって2学期の前半が終了しました。明日から1月7日まで冬休みになります。児童朝礼（オンライン開催）では、次のような話をしました。

「実りの多い2学期」にしようとし、始業式で話しましたが、どうですか。1学期よりがんばっていること、できるようになったこと、まだ成果は出ていないけれどがんばっていることはありますか。2学期はまだ途中ですが、2024年（令和6年）はもうすぐ終わります。この一年、どんな年だったかなと振り返るよいタイミングです。

校長先生は、学校でみなさんや先生方ががんばっている様子にいつもすごいなと感動し、また感謝しています。新聞やテレビや本などからもたくさんのことを学びました。その中の一つが、今年なくなられた大山のぶ代さんのことです。大山さんは、あのドラえもんの声を26年間担当された方です。その大山さんは、俳優・声優さんですが、自分の声が嫌いだったそうです。というか、自分の声に自信がなかったそうです。声自体を変えることはできませんが、表現力の勉強を続け、あるときドラえもんの主役＝ドラえもんに抜擢されました。ドラえもんの声を担当してしばらくした頃、大山さんはドラえもんの作者の方から「ドラえもんの声は、こんな声だったのですね。」と言われたそうです。そのとき、大山さんは、「私でよかったんだ。」「これまでうまくいかないこともいっぱいあったけど、がんばってきてよかった。」と思ったそうです。言葉の力ってすごいですね。作者のその言葉で、大山さんは、自分の声とこれまでがんばってきたことに自信が持てたのでしょう。そんなふうには、大山さんに自信を持たせた＝よいところなんだよと気づかせてくれた作者の方＝言葉の力ってすごいですね。

さて、みなさんはどうでしょう。この一年を振り返って、心に残っていることは何でしょう。自分で、友達と、家族で話し合いながら、振り返ってみてはどうでしょうか。これまでがんばってきた自分を、自分でほめてあげてください。そして、新しい年、2025年（令和7年）に、よし今年はこの年をがんばるぞ、と心に決められるといいですね。

2学期後半は、1月8日から始まります。それでは、みなさまどうぞよいお年をお迎えください。そして来る年もよろしくお願いたします。



年内最後の授業を終えて、下校する子どもたちです。

子どもたちの様子

2年生(学級活動):体育館で「お楽しみ会」をしました。ドッチビーやリレーなど子どもたちが決めた内容を子どもたちの司会進行で進めていました。



3年生(国語):前回できなかったブックトークを市立図書館司書の方にいただきました。



5年生(学級活動):「よい子の冬休み」(冬休みのしおり)をもとに、冬休みの過ごし方について考えました。



1年生(学級活動):大掃除。自分の引き出しも洗いました。



6年生(学級活動):教室の隅々まで掃除しました。



掃除の時間:いつもより5分長い掃除時間の後、2学期前半の振り返りをしました。

